

平成30年度かわさき子どもの権利の日 市民企画事業
THE アート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊

げきだん・ふしぎな卵 公演



11月18日午後2時半に
大山街道ふるさと館で

かいぎ

どうぶつ会議だ!



どうぶつ 動物たちは、子どもたちを たすける ために、
かいぎ さいしよで、さいこの会議をすることにしました。



『げきだん・ふしぎな卵』のみんなが、動物の代表として会議をします。
この会議の参加は自由です。ただし会議室には定員があります。
事前に参加のお申し込みをお願いします。

ケストナーの『動物会議』では、象のオスカルが「ぼくはただ人間どもの子どもたちが気のどくなんだよ。あんなにかわいい子たちなのに！ いつも子どもたちは、戦争だ、革命だ、ストライキだといって、ひどい目にあうんだ。なのに、おとなたちは、なにごと子ども未来のためだなんていう。ずうずうしい話じゃないか。」と、動物たちを集めて『どうぶつ会議』をひらくことになります。(岩波書店刊・高橋健二訳『動物会議』)

わたしたち『げきだん・ふしぎな卵』では、どうしたら子どもの権利を守れるか会議(稽古)しています。11月18日(日)14:30からおこなう『どうぶつ会議』に皆さまも参加してください。どうぞよろしくお申し込み申し上げます。

2018年11月18日(日)14:30から会議(14:00開場)

大山街道ふるさと館イベントホール

入場無料 定員50名(申し込みが必要です)

お申し込み・お問い合わせ

theartpro@gmail.com 044-852-3034(カフェイズミ内)



11月20日はかわさき子どもの権利の日

『げきだん・ふしぎな卵』について

この劇団は、川崎市で活動する「THE アート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊」の取り組みから今年の2月に生まれた、市民劇団です。メンバーは障害のある若者を中心とした一般市民ですが、米倉齊加年と共に長年演劇に携わってきた「マサカネ一座」、地域のプロミュージシャンも参加しています。

普通に働く人々による普通の芝居を作る劇団です。

出演者、お手伝い、広く募集しています。

そして、ご志援をよろしくお願い申し上げます。

毎週日曜日の午前中のワークショップ、毎週木曜日の夜の勉強会を重ねています。

連絡先 044 - 852 - 3034 theartpro@gmail.com (カフェイズミ内)



* 「THE アートプロジェクト多文化読み聞かせ隊」

多文化を紹介する絵本や多言語の絵本の読み聞かせを中心に、多文化を紹介する活動を行っている市民グループです。障害の有無による違いを含めた、広い意味での多文化の理解を進めたいと活動しています。

* 米倉齊加年(1934~2014)

映画、テレビ、商業演劇、絵師と幅広く活躍した米倉齊加年は、宇野重吉に師事し劇団活動を主に多くの舞台に出演、日本中の人々に愛された。

米倉最後の舞台は、世田谷中学校体育館での「不思議な卵」(米倉テルミ作)。

絵本「おとなになれなかった弟たちに…」は、1987年より中学一年生の国語教科書に採用され、現在も使用されている。

* マサカネ一座

米倉齊加年が2007年に「海流座」として旗揚げ、2015年に「マサカネ一座」と改名。

現在「マサカネ一座」(代表・助川汎)として活動。

年一回の公演と、月一回の朗読劇(2014年より)を行っている。

また、演出担当の米倉日呂登は2015年より、月一回「米倉齊加年の仕事」を発行中。

川崎市大山街道ふるさと館

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

電話 : 044-813-4705 FAX : 044-814-0250

JR 南武線 武蔵溝ノ口駅:徒歩 7分

東急田園都市線/大井町線 溝の口駅:徒歩 7分

東急田園都市線 高津駅下車:徒歩 5分

